

## 議員レポート

# 地方議会の力で 地方創生を！

## — 全国地方議会サミット2018 —

7月11日・12日の二日間、早稲田大学大隈記念講堂で開催された「全国地方議会サミット2018」に、議員6名で参加して参りました。

サミットでは「議会のチカラで日本創生」をテーマに、有識者や全国の先進議会議長などの講義・ディスカッションが繰り広げられ、全国から1000名を超える議会関係者の参加がありました。

地方創生と議会、災害復興と議会といった、議会の重要な役割があらためて示され、先進地事例報告では、全国各地の個性的な議長からの熱いメッセージが大変刺激となりました。

最後は「地方議会の力で地方創生を！」と声高らかな宣言が響き、今夏の猛暑を彷彿とさせる熱い二日間の幕が閉じました。

### 住民福祉の向上のため意見の統一化を

広報常任委員 渡邊政司

「政策を実現する議会へ」というテーマでの先進事例として、住民の要望を実現させるために、議員間の意見の統一化を図り、政策を実現する「チーム議会」の取り組みが紹介されました。

2000年の地方分権以降、国から地方へと権限委譲が進められています。今では、自らの力で地方創生に取り組む必要があり、議会活動は益々重要になってきています。

議会の最大の目的は、住民福祉の向上をかなえることです。政策実現に向けては、多様な考えを持つ各議員の意見をまとめて、議員全員の総意による提言が必要です。これからは、先進事例を参考にして、常に、「住民のためになること」を議員間の共通目標に掲げて意見の統一化を図っていきます。

### 議会は「住民本位」でなければならない

広報常任委員 小林昭一

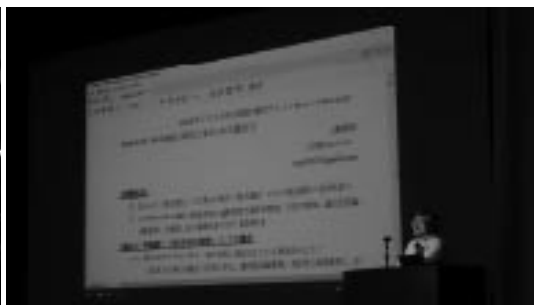
片山善博早稲田大学教授の話では「地方創生から4年経つが、効果は現れているか？現れていないと感じるが、その原因は？総合戦略策定の段階で問題あり。」とのこと。国からの指示で短期間で策定、地域の事を知らないコンサルタントに委託等、考えてみればその通りである。

「プレミアム商品券もそうであった。国からの縛りや要請があったのだとしても本当に必要だったのか？他の方法はなかったのか？地方議会は、もっと地域の事を考えるべき。」まさにその通りであった。

我々議会は、住民目線で住民の事を考えてみたのだろうか。地方創生の手法に問題がありそうなのに、提議しなかった。住民の力を結集して執行部に提案すべきであり、住民本位に考えなければならぬと、反省した次第である。



全国から多くの議会関係者が参加



山梨学院大学の江藤先生も講師として登壇



主な講師陣が登壇しグランドフィナーレ



## 町村議会議員セミナー

### 村民に開かれた議会に

広報常任委員長 小林 清一

10月9日、県町村議会議長会主催の「町村議会議員セミナー」が早川町で開催されました。

「小規模町村議会の現状と課題」というテーマで、山梨学院大学の江藤俊昭氏の講義を受講しました。

講義では「小規模町村議会は、住民からの問題提起に対して十分な対応ができず、そのため住民の信頼があまり得られていない。このような課題を突破するためには、住民の方々に積極的に議会活動に参加してもらい、議会活動を理解してもらうことが大切である。」との提言がありました。

本村議会では住民との座談会を実施していますが、そのほかにも多様な住民参加の方法が考えられます。住民の方々にあまり負担が掛からないかたちで、多くの人に議会活動に触れていただく方法の検討が必要であると感じました。



## 町村議会広報研修会

### 見てもらうためのテクニックとは

広報常任委員 三浦 直樹

10月10日、都内で行われた町村議会広報研修会に参加しました。

朝日新聞の前田安正氏からは、「広報は情報を正確に発信し多くの人に分かる表現が必要である」「主語と述語を対応させ伝えるべき事を前に出す」といったことや、読み手を不快にさせない表現の使い方などについてご教示いただきました。

筒井美希氏からは、読み手目線で考え、見てもらうための見出し・書体・サイズ・配置等の「伝えるテクニック」を学びました。レイアウト基本4原則や、言語と非言語を組み合わせた表現方法など、今後の議会だよりづくりにも活かしていきたいと思います。

また、埼玉県寄居町(全国コンクール最優秀賞)と山形県川西町(同優秀賞)の議会だよりの内容分析などもあり、どちらも住民に強く印象に残る作りとなっておりとても参考になりました。

## 総務教育厚生常任委員会

委員長  
小林 昭一

### 現場の声を吸い上げ

## 体育施設の充実・改善を！

9月7日に、若者や子育て世代の方も多く在籍している「鳴沢村スポーツ推進委員(スポ推)」のみなさまと座談会を開き、ご意見やご要望などをお伺いしました。

スポーツ推進委員の皆さまからは、次のようなご意見等をいただきました。



- ◆ 村民体育館は、広くて夏場は涼しく村外の方も利用しているが、暗幕がないなど、設備が充実してあらず「もったいない」という声を聞く。設備を充実させれば利用者も増えると思う。
- ◆ 体育施設の周囲や保育所の駐車場は、水はけが悪いので対策をしてほしい。道路など車が走る場所よりも、人が歩くところを優先して対策すべきだと思う。
- ◆ 武道館やトレーニングルームも設備や機器が古くなってきている。シャワールームや更衣室があるが、通常は使用できない状態になっている。
- ◆ 村のHPなどで体育施設の予約状況確認や予約申請手続きができるようになれば便利である。
- ◆ 生き生き広場は活用が少なくもったいない。ボール等の利用を許可するエリアを設けるなどすれば利用しやすい。
- ◆ スポ推の構成メンバーが若い世代が多いため、幅広い意見交換ができるよう、もう少し上の世代の方にも入ってもらいたい。

- ◆ 近隣では体育祭を実施していないところもあり、鳴沢村も無くしてもいいのでは、という意見もある。一方、災害時などは住民同士のコミュニケーションが大事になるので、体育祭等で住民同士のつながりが保てたり、お互いの顔が分かったりという良い面もある。
- ◆ 総合センターや大田和公民館は避難所に指定されているが、すぐ近くに崖があり大丈夫なのか。
- ◆ 富士山噴火のときはどうすればいいのか。避難経路がとても少ないと思うし、渋滞も懸念される。
- ◆ 国道の歩道に雑草などがかなり生えていて通行の支障になっている。

座談会ではこのほかにも様々なご意見がありました。

これらの内容を受けて委員会で協議し、下記の事項を全議員で構成される議員協議会へ提言することを決定しました。

- ① 体育施設の設備等の充実・改善
- ② 体育施設の予約方法・管理体制の改善
- ③ 生き生き広場を使用目的ごとにエリア分けして活用

今回はスポーツ関係だけでなく、村の行政全般について多くのご意見をいただきました。

今後も様々な方の声を聞いて、村政に反映させていきたいと思っております。





渡邊 政司 議員

障害者雇用促進法では、企業や国・自治体などに一定の割合以上の障害者を雇用するよう義務づけ、2018年4月からは、障害者雇用率が国・地方自治体・特殊法人などは2.5%へとそれぞれ引き上げられている。役場職員採用に関する障害者雇用の基本的な考え方は。

●村長 小林 優

本年6月1日現在の調査の結果、2018年4月の法定障害者雇用率の引き上げ等により、法定雇

### Q 障害者雇用の基本的な考え方は

#### A 障害者の適性に合った職務の創設が必要

用障害者数は1,125人と、1人以上の雇用義務があることが判明した。

障害者雇用に向けては、障害者が従事できる職務を洗い出し、早期離職を防止するために障害者の適性に合った職務の創設を行っていく必要がある。

また、本庁舎は、設備の老朽化が著しく、狭あい化やバリアフリーにも十分に対応できていないため、正規職員限定での雇用ではなく、さまざまな配慮が比較的容易な非常勤職員の雇用を視野に入れて十分検討していく。



小林 昭一 議員

今年の夏は観測史上最高の外気温となった地域が数多く見られた。この異常な気象環境は想定外などと言われ、予想できないものとされるが、児童・園児にとっては過酷な状況であると思われる。

小学校並びに保育所にエアコンを設置する考えは。

●村長 小林 優

保育所には、暑さ対策として昨年度各部屋に2台ずつ扇風機を設置し、水遊びやこまめな水分補給等で園児の体調管理をしている。

エアコン設置には部分的な改修工事等が伴うことが想定されるため、財政と協議しながらゼロ歳児・1歳児の部屋、ホールなどを優先的にエアコン設置を検討していきたい。

### Q 小学校・保育所にエアコン設置の考えは

#### A 保健室・ホール等への設置を検討

●教育長 渡邊 伸一

小学校は夏休み期間があり、北側の窓を開ければ涼しい風も入るとのことで、現時点での冷房機器の必要性は低いと考えている。

しかし、財政と協議しながら国庫補助金等の財源を活用し、学校保健の拠点である保健室へのエアコン設置を含め、今後の夏の気温の状況、また近隣市町村の導入状況などを見ながら冷房機器の設置を検討していきたい。



ホールでお昼寝の準備をする園児たち



渡邊 明雄 議員

通学路の合同点検を年に一度実施していると思うが、点検後の対策及びその後の確認はどのように行っているか。

また、国道の渋滞を避けて、生活道路をスピードを出して走行する県外車両をよく見かけるが、村道に速度制限標示がないのはなぜか。

●村長 小林 優

通学路の合同点検（国、県、小学校、PTA役員・教育委員会、役場）では、富士吉田警察署から現在の対策で十分と判断された箇所を除き、随時改善を進めている。

また、登下校の時間帯に村道を利用しないよ

## Q 通学路合同点検後の対策と確認は

### A 随時改善を進めている

う、村内法人10社に通勤時には幹線道路を優先して利用するようお願いしている。

速度制限標示については、山梨県公安委員会の所管であり、依頼もしていなかったが、村では注意看板や、減速マーク等の路面標示での対策を実施している。また、「原のみち」では、速度抑制策としてポールを設置し、減速の効果が上がっている。

住民の皆様にも安全運転を徹底していただくことが何よりも大切であると思っている。



速度抑制効果のあるポールと減速路面標示

## Q 個人による害獣駆除への助成の考えは

### A 助成できる仕組みの構築を検討

農家等でワナなどの狩猟免許を有する者が害獣を捕らえた場合に、村単独予算で助成金を出すことにより害獣駆除をする方が増え、農作物被害の軽減につながると考える。害獣捕獲に対して助成する考えはあるか。

●振興課長 木暮 富人

有害獣については、捕獲頭数の推移から長期的に明らかな増加傾向にあり、その対策は急務である。

有害鳥獣捕獲に係る狩猟者に対する助成金としては、山梨県の特定鳥獣適正管理事業費補助金を活用して管理捕獲(※)を猟友会に委託している。

本村では、管理捕獲ではない個人による有害鳥獣捕獲に対しての助成は行っていないが、猟友会は構成員の高齢化が進み、将来的に現状を

維持していくことは困難であると思われる。これからは猟友会に全てを頼るのではなく、住民もかかわる地域ぐるみでの取り組みが必要となる。

今後、農林水産省の鳥獣被害防止総合対策事業費補助金制度を活用して、個人による有害鳥獣捕獲に対しても助成できる仕組みの構築を検討する。



村内に設置されているサル用の箱わな

※管理捕獲

増え過ぎた鳥獣を適正な生育頭数とするため、特定鳥獣管理計画に基づき県が許可して行う捕獲。



## Q 災害時の避難先の安全確保は

### A 被災の影響が及ばない施設を開放

災害時避難所指定の総合センターや、大田和公民館のそばは土砂災害ハザードマップでは警戒区域場所になるが、安全対策は。

また、災害時の避難勧告等はどのようにして決定されるのか。

鳴沢村土砂災害ハザードマップの内容周知は。

#### ●村長 小林 優

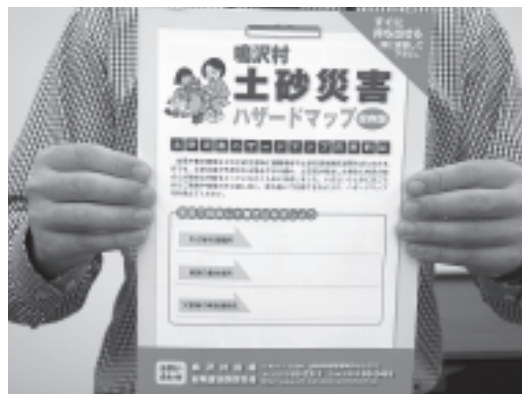
台風などの風水害が予想される場合、土砂災害の被災の影響がない施設の開放を考え、保健センターを避難所として開放し、安全が確認できれば必要に応じて大田和公民館等、他の施設も開放する。

警報が発表された場合には、昼夜を問わず総務課と振興課の職員が対応に当たり、情報収集を行い、収集した情報により総体的に災害の危険度が高まった場合に避難情報を発令する。

住民が避難情報に慣れてしまわないように、

総雨量の見込みや降雨時間、村内の危険箇所の状況などを判断した上で避難情報を提供し、避難所を開設することとしている。

鳴沢村土砂災害ハザードマップは平成24年に全世帯に配布済みで、現在も窓口での配付や、村のHPでも閲覧可能となっている。



鳴沢村土砂災害ハザードマップ



小林 清一 議員

道の駅なるさわは、平成7年に開業以来23年経過している。売り上げ実績は平成22年ころをピークに伸び悩んでいる。

物産館は、出荷する農産物もふえて、精算レジは客の長蛇の列。軽食堂は全体が狭く、落ち着いて食事がとれない。

顧客がもう一度訪れたいという顧客満足度の向上及び売り上げを向上させるため、物産館、軽食堂の拡充をすべきと考えるが。

#### ●村長 小林 優

設備の見直しも含め調査・研究、検討しているが、施設全体を改修する有利な補助金や制度がない状況である。現行の交付金制度を活用し

## Q 道の駅の施設拡充の考えは

### A 必要性は感じるが現時点では困難

て駐車場舗装整備と浄化槽を大きくし、災害に強い道の駅として設計している段階である。

道の駅は鳴沢村を代表する施設であり、リニューアルする必要性を感じているが、道の駅周辺は国立公園の第2種特別地域という規制もある。

議員各位にも、このような状況を踏まえる中で調査・研究し、道の駅を初め地域活性化の進展が図られるご提案をいただきたい。



繁忙期にはすぐに満席となる軽食堂



三浦 直樹 議員

ゴルフ場予定地だったが放置状態の土地、富士山の観光スポットで伐採出来ず景観が損なわれている土地などへの対策として、構造改革特区制度を活用した事業を実施する計画を立てる考えは。



周囲の樹木が眺望を妨害している五湖台

## Q 構造改革特区制度(※1)活用の考えは

A 使用可能な事業には活用していきたい

### ●村長 小林 優

ゴルフ場予定地は知事の林地開発許可に当たり、国の規制とは別の問題となるため特区の対象とはならないが、広大な面積であり、土地利用上からも一日も早い解決に向け、山梨県への働きかけや、開発地を一括しての企業誘致を推進している。

東海自然歩道沿いの伐採については、足和田山全体が水源かん養保安林(※2)の指定区域となっており、法律で伐採の方法や限度、伐採林齢などの基準が定められている。4、5年前に、眺望を良くするために、森林組合が県の間伐補助を受けて間伐を実施しており、補助金制度の協定により20年経たなければ間伐等の施業ができないような状況である。

村の事業の見直し・発想の転換はともに重要であり、この構造改革特区制度を精査し、使用可能な場合は活用していきたい。

#### ※1 構造改革特区制度

実情に合わなくなった国の規制を、特定の区域において特例的に緩和する制度。地域経済等の活性化を目的とする。

#### ※2 水源かん養保安林

地下水等の水源を維持する目的で、降雨などが地表を流れ落ちず、自然に土壌に浸透させるために管理されている林。

## 『町村議会広報功労者表彰』 を受賞！

7月31日に開催された、町村議会広報研修会において、「町村議会広報功労者表彰」の表彰式が行われ、広報常任委員会の渡邊明雄副委員長と渡邊政司委員が功労者表彰を受賞されました。

お二人とも、就任以来通算5年以上に渡り、議会活動をより身近に感じてもらえるよう、わかりやすさ、読みやすさに重点を置いた議会だよりづくりを推進し、山梨県広報コンクールにおいて3年連続となる奨励賞受賞にも大いに貢献されました。



# 村長へ「要望書」を提出

9月21日に正・副議長が村長を訪問し、議会からの要望書を提出しました。

地方議会には「執行機関の監視」と「政策形成」の2つの役割があります。

このことを再認識し、議会の責務として政策立案の役割を果たすべく全議員で協議し、議会の総意として要望書を提出しました。（※一部文言の省略あり）



## 1. 児童福祉について

子どもの健全な育成や体力の向上のため、小学校・保育所等に体幹を鍛えられるような遊具を設置したり、村の自然を有効活用した遊び場を創設していただきたい。

## 2. 高齢者福祉について

- (1) 生きがいバス等、高齢者向け行楽行事の継続・拡大や、介護予防事業の更なる充実を図るため、スタッフ等の支援体制を強化していただきたい。
- (2) 総合センター・いきやりの湯などの和室への椅子の配備や、いきやりの湯の通路・浴室等への手すりの設置など、施設・設備のバリアフリー対策を推進していただきたい。

## 3. 公共施設管理について

- (1) 公共施設の老朽化が懸念されるため、施設改修・建て替え等の優先順位や、今後の改修計画等をわかりやすく開示していただきたい。
- (2) 体育施設について、周辺環境や広さなどは好条件であるのに、設備や機器が古かったり、使われていない設備があったり、駐車場や通路が老朽化している。設備等の充実・改善を図られたい。
- (3) 体育施設等の利用予約について、インターネットを活用したり、管理体制を見直したりなどの改善を図られたい。

## 4. 観光施設整備について

- (1) 道の駅第3駐車場は、いきやりの湯への進入路付近に大きな陥没が見られるなど老朽化しているため、改修していただきたい。
- (2) 魔王天神社東側の溶岩樹型について、駐車場周辺の草がだいぶ伸びて荒れてきているので、構内も含め定期的に管理していただきたい。

## 5. 国道・県道について

- (1) 行楽シーズンの渋滞解消や、災害時の避難経路の確保のため、東西を走る新たなバイパスの整備を国交省等関係機関に働きかけていただきたい。
- (2) 交通安全並びに良好な景観の保全のため、国道139号沿いの歩道や周辺の草刈り・下刈りなどの定期的な管理を国交省や土地所有者等に働きかけていただきたい。
- (3) 駐在所前バス停付近の県道の轍がひどく、雨天時の通行車両の水はねが停留所の待合室まで飛んでくるため、道路補修の働きかけ並びに水はね防止対策を講じていただきたい。

## 6. その他

地域活性化や三世代交流の一環として、エポックホールを有効活用し、公開収録誘致や映画の上映等、家族で楽しめるイベントを開催していただきたい。



# 浪漫を求め鳴沢村で

浪漫の森キャンプ場 松岡 信夫

定年間近で頭の薄くなった親父が、縁があって一念発起し鳴沢村に山(土地)を購入。

当時、第二の人生はカスミを食って生きていくと考えたかどうかは忘れました！

当然ですが、その先は波乱万丈。所詮サラリーマン育ち。

それでもなぜか山で過ごす時間は楽しくて、気がついたら今年古希を迎えていました。



「日本一小さなキャンプ場」浪漫の森



常連のお客さんと70歳の誕生日をお祝い  
(中央に座っているのが松岡さん。その後ろが奥様。)

少年のようなじいじは、まだまだ浪漫を求めて、石窯を温めピザを焼く準備をして皆さんを待っています。

忠ちゃんの焼き鳥屋さんから1キロほど上ったところにある浪漫の森、ぜひ一度遊びに来てください。

富士・鳴沢紅葉ロードレースには、第1回からお茶とみかんを出して応援しています。今年も会えたと喜んでくれるランナーも増え、毎回楽しみです。あと何年頑張れるかわかりませんが、真っ赤なツナギのじいじでやっています。

今後ともよろしくお願ひいたします。

## 広報常任委員推薦！ 鳴沢のおすすめ！ ランチ特集！

広報常任委員 三浦 直樹

今回は紅葉台ドライブインの名物ほうとうを紹介します。

無添加無農薬で体にいい自慢の自家製味噌を使用。鳴沢の野菜をふんだんに使っています。なめこもうまい！

かぼちゃとほうとうの美味しいハーモニーをお楽しみください。

このボリュームで950円！秋は紅葉も楽しみながらどうぞ。

●お問い合わせは  
紅葉台ドライブイン  
TEL.0555-85-2356

ほうとう (紅葉台ドライブイン)



## 議会からのお知らせ

傍聴してみませんか  
次の定例議会は12月中旬  
に開会予定です。

傍聴可能な日程は、  
役場議会事務局までお気軽  
にお問い合わせ下さい。

1月にCATVでも放映予定です。  
ぜひご覧ください。

☎ 85-2311 (内線111)

総務教育厚生常任委員会より

いつまでも生き活きと達者に暮らせるよう、日頃から健康管理を心がけましょう。

村内の  
医療機関

なるさわクリニック ☎0555-25-7571  
なるさわ接骨院 ☎0555-85-3700  
安富 歯科医院 ☎0555-85-3955

なるさわ議会だよりは、ホームページでも公開  
しています。また、本会議の会議録も公開して  
いますので、ぜひアクセスしてください。

